

製 品 安 全 データシート

1, 化学物質等及び会社情報

製品名　（特級）　ビス[(+)タルトラト]二アンチモン(III)酸二カリウム三水和物
Bis[(+)-tartrato] diantimonate (III) dipotassium trihydrate
（化学用）　ビス[(+)タルトラト]二アンチモン(III)酸二カリウム三水和物
整理番号　37215
作成日　2000 年 10 月 24 日
改訂日　2010 年 9 月 16 日

会社名　純正化学株式会社
本社住所　〒103-0023　東京都中央区日本橋本町 4-4-16
●連絡先及び緊急連絡先（MSDS 作成担当）
担当部門　営業本部　学術担当
担当住所　〒343-0844 埼玉県越谷市大間野町１－６
電話番号　048-988-3621　FAX 番号　048-988-6689
E-mail: shiyaku-t@junsei.co.jp
http://www.junsei.co.jp

用途と使用上の注意：　本製品は試薬ですので、試験研究用以外には使用しないで下さい。

2, 危険有害性の要約

【GHS 分類】 NITE 分類(ID=1127)

物理化学的危険性

可燃性固体	：区分外
自然発火性固体	：区分外
自己発熱性化学品	：区分外
水反応性可燃性物質	：区分外
酸化性固体	：区分外
有機過酸化物	：区分外

健康に対する有害性

急性毒性　経口	：区分 3
皮膚腐食性／刺激性	：区分 3
生殖細胞変異原性	：区分 2
発がん性	：区分 2
特定標的臓器／全身毒性（単回暴露）	：区分 1（呼吸器系）、区分 1（心血管系　肺）
特定標的臓器／全身毒性（反復暴露）	：区分 2（肝臓）

環境に対する有害性

水性環境急性有害性	：区分 3
水性環境慢性有害性	：区分 3

（注）危険有害性の分類で、「分類対象外」及び「分類出来ない」は項目を省いた。

【GHS ラベル要素】

【GHS 絵表示】



【注意喚起語】

危険

【危険有害性情報】

飲み込むと有毒
軽度の皮膚刺激
遺伝性疾患のおそれの疑い
発がんのおそれの疑い
呼吸器系の障害
長期又は反復ばく露による心血管系、肺の障害
長期又は反復ばく露による肝臓の障害のおそれ
水生生物に有害
長期的影響により水生生物に有害

【注意書】

【安全対策】

・使用前に取扱説明書を入手すること。
・すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
・適切な個人用保護具を使用すること。
・粉じん、蒸気、ヒューム、スプレーを吸入しないこと。
・取扱い後はよく手を洗うこと。
・環境への放出を避けること。

【応急措置】

・飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。
・飲み込んだ場合、口をすすぐこと。
・皮膚に付着した場合、皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを求めること。
・ばく露又はその懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。
・ばく露した場合、医師に連絡すること。
・気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

【保管】

・施錠して保管すること。

【廃棄】

・中身及び容器の廃棄は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の処理業者に依頼する。

3，組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：単一製品
化学名：酒石酸アンチモニル(III)カリウム 1.5 水和物
別名：吐酒石
化学式：C8H4K2O12Sb2・3H2O
CAS　No：28300-74-5
EINECS No：233-937-0

含有量：(特級)　　99.5%以上
　　　(化学用)　98.0%以上
化審法：2-2953
安衛法：公表

4, 応急措置
○ 吸入した場合：新鮮な空気と安静。必要な場合には人工呼吸。医師に連絡。
○ 皮膚に付着した場合：汚染された衣服を脱がせ、水と石けんで皮膚を洗浄。医師に連絡。
○ 眼に入った場合：先ず数分間、多量の水で洗い流す（できればコンタクトレンズをはずす）。医師に連れて行く。
○ 飲み込んだ場合：意識あるなら、口をすすぐ。意識なければ、何も与えない。医師に連絡。
予想される急性症状及び遅発性症状：データなし
最も重要な徴候及び症状：データなし
応急措置をする者の保護に必要な注意事項：データなし
医師に対する特別な注意事項：データなし

5, 火災時の措置
消火剤
水スプレー、粉末消火薬剤、AFFF（水性膜泡消火薬剤）、泡消火薬剤、二酸化炭素。
使ってはならない消化剤
棒 状 放 水
消火方法
周辺火災の場合、出切る限り速やかに容器を火災現場より遠ざける。移動不可能な場合は容器及び周囲に散水して冷却する。
着火した場合は風下の人を退避させ火元への燃料源を断ち、風上より消火剤を使用して消火する。消火に当たっては保護具を着用する。
特有の危険有害性：火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。
不燃性であり、それ自身は燃えないが、加熱されると分解して、腐食性及び/又は毒性の煙霧を発生するおそれがある。
特有の消火方法：データなし
消火を行う者の保護のために着用する保護具：防火保護服、手袋に加え、空気呼吸器等を着用する。

6, 漏出時の措置
人体に対する注意事項
暴露しないよう十分な換気のもと保護具着用して行う。
保護具及び緊急時措置
「8. 暴露防止及び保護措置」における、保護具着用
環境に対する注意事項
上水源、河川、湖沼、海洋、地下水に漏洩しないようにする。
回収、中和
漏出物をふた付の容器に集め、残留物を砂または不活性吸収剤に吸収させて安全な場所に移す。

7, 取扱い及び保管上の注意
取扱い
ー蒸気、ミスト、ガスが、皮膚に触れたり、吸入することがないように、

局所排気したり、保護具を着用する。
ー作業場を換気する。
ー作業中は飲食、喫煙をしない。
保管
ー火気厳禁。
ー密栓して換気のよい冷暗所に保管する。
ー強酸化剤から離しておく。

8, 暴露防止及び保護措置
通気：換気装置を用いて、ミスト、ほこり、蒸気濃度を低く保つ。
管理濃度（労働安全衛生法）：設定されていない。
許容濃度
日本産業衛生学会(2008 年度)：0.1mg/m3(Sb として)
ACGIH(2009 年)：0.5mg/m3(as Sb)
OSHA：PEL TWA 0.5mg/m3（Sb として）
NIOSH：REL TWA 0.5mg/m3（Sb として）
MSHA：TWA 0.5mg/m3（Sb として）
設備対策
局所排気装置
保護具
ー防塵マスク。防毒マスク。送気マスク、空気呼吸器等。
ー不浸透性保護手袋。
ー安全ゴーグル。
ー不浸透性保護衣。

9, 物理的及び化学的性質
外観：白色結晶・粉末
臭い：データなし
pH: データなし
融点：100℃℃
沸点：データなし
引火点：データなし
爆発範囲の上限・下限： データなし
蒸気圧：データなし
蒸気密度：データなし
比重：2.6g/cm3
溶解度：水： 83g/L (20℃)
n-オクタノール／水分配係数：log Pow = -4.21 (推定値)
自然発火温度：データなし
分解温度：データなし

10, 安定性及び反応性
反応性と安定性:常温常圧で安定
避けるべき条件（静電放電、衝撃、振動など）：データなし
混触不可物質：データなし

危険な分解生成物：データなし
危険な重合反応：しない

11, 有害性情報

急性毒性　経口

RTECS(2004)のラットのLD50=115mg/kgから、区分3とした。【注】酒石酸アンチモニルカリウムの無水物(CAS No.11071-15-1)の健康有害性のデータがほとんど見つからなかったため、三水和物(CAS No.28300-74-5)として調査および分類を実施した。

急性毒性　経皮

データなし

急性毒性　吸入：ガス

吸入（ガス）: GHSの定義における固体。

急性毒性　吸入：蒸気

データなし

急性毒性　吸入：粉塵ミスト

データなし

皮膚腐食性／刺激性

HSFS(2004)および SITTIG(4th, 2002)では皮膚刺激性があるとされおり、HSDB(2005)にも軟膏中の本物質が使用初期に軽度刺激性を示す(長期使用では発疹を生じる)との記載があることから、区分3とした。

眼に対する重篤な損傷性／刺激性

HSFS(2004)および SITTIG(4th, 2002)では眼刺激性があるとされているが、裏付けとなるデータが見つからず、データ不足のため分類できない。

呼吸器感作性

データなし

皮膚感作性

データなし

生殖細胞変異原性

体細胞 in vivo 変異原性試験に相当するラットでの染色体異常誘発(RTECS, 2004)、および本物質を投与された患者のリンパ球に染色体異常がみられたことから(HSDB, 2005)、区分2とした。

発がん性

産衛学会勧告(2005)でアンチモン化合物として2Bに分類されており、区分2とした。

生殖毒性

データなし

特定標的臓器／全身毒性（単回暴露）

Priority 1文書の ACGIH-TLV(2005)ではアンチモン化合物として気道刺激性、肺への影響があるとしており、Priority 2文書の SITTIG (4th, 2002)にも気道刺激性、高濃度ばく露における肺水腫の記載があることから、区分1(呼吸器系)とした。

特定標的臓器／全身毒性（反復暴露）

Priority 1文書の ACGIH-TLV(2005)ではアンチモン化合物として肺および心血管系への影響があるとしており、Priority 2文書の HSDB(2005)、HSFS(2004)、SITTIG (4th, 2002)にもヒトの肺および心臓への影響の記載があることから、区分 1(肺、心血管系)とした。また、Priority 2文書の HSFS(2004)、SITTIG (4th, 2002)にヒトの肝臓への影響の記載があり、区分2(肝臓)とした。(HSDB(2005)、RTECS(2004)のウサギおよびラットの試験でも肝臓への影

響が認められ、毒性がみられた用量はガイダンス値との比較では区分 2 の範囲内であった。)

吸引性呼吸器有害性

データなし

12, 環境影響情報

ー生態毒性

水性環境急性有害性

魚類（ファットヘッドミノー）の 96 時間 LC50=12000μg/L（AQUIRE、2003）から、区分 3 とした。

水性環境慢性有害性

急性毒性が区分 3、金属化合物であり水中での挙動および生物蓄積性が不明であるため、区分 3 とした。

13, 廃棄上の注意

中身及び容器の廃棄は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の処理業者に依頼する。

14, 輸送上の注意

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実におこなう。

国連番号：1551
品名：酒石酸アンチモンカリウム
国連分類：6.1
容器等級：III
海洋汚染物質：非該当

緊急時応急措置指針番号：151

15, 適用法令

消防法：非該当
毒劇法：第 2 条別表第 2 劇物（アンチモン化合物及びこれを含有する製剤）
旧ＰＲＴＲ法：1-25（アンチモン及びその化合物）（平成１２年3月３０日施行）
新ＰＲＴＲ法：1-31（アンチモン及びその化合物）（平成２１年１０月１日施行）
労働安全衛生法：安衛法通知有害物（施行令、別表第九の番号）：38
船舶安全法：危規則第2条危険物等級 6.1 毒物
航空法：施行規則第 194 条危険物毒物

16, その他の情報

参考文献

ーメルクインデックス１４版 700
ーＳＴＮインターナショナル RTECS ファイル AQUIRE ファイル
ー危険物船舶運送及び貯蔵規則（十四訂版）国土交通省海事局検査測度課（海文堂）
ー改訂第3版 緊急時応急措置指針（日本規格協会）

－NITE GHS 分類データ (ID=1127)
－NITE GHS 分類マニュアル (H18.2.10 版)
－15710 の化学商品 (化学工業日報社)
－製品安全データシートの作成指針 (改訂第2版) ((社) 日本化学工業協会)
－化学物質総合情報提供システム (CHRIP) (NITE) http://www.safe.nite.go.jp/japan/db.html

---

コメント

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。また、記載物性値は文献値であり、規格値ではありません。
全ての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途, 用法に適した安全対策を実施の上でご使用下さい。